

# 「泳げる川」を取り戻したい!

ネパールの子どもたちが、人びとが、動き出す。

世界遺産にも指定された古都カトマンズに今、異変が起こっています。カトマンズ盆地を横切って流れるバグマティ川は、生活排水が流れ込み、ゴミが投棄される、悪臭放つドブ川となってしまうのです。解決の糸口は、いったいどこにあるのでしょうか。

## 私たちの水は、暮らしはどうなるの?

ネパールの首都・カトマンズの生活水の主な水源になってきたバグマティ川。人々はこの川から、飲み水をはじめ、炊事・水浴び・洗濯など生活に必要な水を得てきました。さらにバグマティ川は、ヒンドゥ教徒にとって「聖なる川」。人々はバグマティ川で沐浴し、亡くなった後の遺灰はバグマティ川に流すのです。

そんな大切な川が今、死にかけています。

カトマンズには農村部から急激に人口が流入。カトマンズ市民は、川の1キロ先まで漂う悪臭に悩まされ、水を買う余裕のない人々は、汚染の進んだ水を使用せざるを得ず、健康被害も懸念されています。

## 子どもたちから、地域へ

私たちは、地域の未来を背負う子どもたちに注目しました。カトマンズには、民族的・文化的な背景の異なる人々が、互いのことをよく知らず、暮らしています。でも学校では、いろいろな民族・文化の子どもたちが一緒に勉強しています。彼らが「みんなでアクションを起こして、家の周りのゴミや、汚いバグマティ川を変えていきたい!」と考え、行動し始めることが、やがては地域全体を動かしていく…そう考えました。

## バグマティ川の健康診断

2012年末から、まず学校の先生たちに研修をおこない、「川の課外授業」を作り上げました。バグマティ川の上流から下流まで、自分たちの足で歩き、観察し、耳をすませ、(水質を)測る、体験型・参加型の授業です。「何が原因で汚れているのか?」「どうしたら水質をきれいに、ゴミを少なくすることができるのか?」子どもたちや保護者がバグマティ川を検診し、診断結果をまとめ、そして処方箋を考える過程を、学校の先生たちが導いていく…それが「川の課外授業」です。

川の現状を目の当たりにしたことは、先生・子ども・保護者に強烈なインパクトを与えました。ある学校では、学校で出るゴミを分別するようになり、それが生徒たちの家庭にまで広がり始めています。

## アクションを加速させる

子どもたちの、地域の人々のアクションを引き出していくため、2014年度は、さらに多くの学校で、この授業を実施していきます。また、この授業を実施するためのテキスト(副読本)を作成・配布する予定です。

そして、「何とかしたい!」と考え始めた人びとの行動を加速させるため、地域単位で生活排水を処理できる「分散型排水処理施設」を建設。地域による排水処理のモデルづくりに取り組みます。







課外授業に参加した子どもたちは、「これほど自由に移動し学ぶという機会は初めて。一緒に参加してくれた両親、先生、クラスメートとバグマティ川に行ったことで、より環境について感じ、身近な気持ちになりました。」といった感想が聞かれました。

### どこで

■ネパール カトマンズ 郡北部 ジョルパティ地区・ポータナート地区・ゴカルナ地区

### だれが/だれと

上記地区内の小中学校の生徒たち、環境教育担当教員、生徒たちの保護者を含む地域住民



### なぜ

ネパールの首都カトマンズを流れるバグマティ川は、近年の急激な人口増加に伴い、大量のごみ投棄や排水の垂れ流しにより極端に汚染されています。行政だけに頼っている解決できない問題に目を向け、失われたバグマティ川の再生のために、カトマンズの住民たち自ら「何をすべきか」を考え、地元の環境問題に取り組むためのサポートをしてきました。

### 2013 ハイライト

2012年12月から開始した教師向け研修には、のべ401名が参加しました。教師たちはバグマティ川での課外授業を実施。9校からの参加者581名（生徒と保護者と教員）がバグマティ川の上流から下流を訪れ、川の現状を知るための観察を行いました。その後、地元についてよく知るためのグリーンマップ作成研修を、4校210名（生徒と保護者と教員）が実施しました。また2013年2月からは、地域住民が管理運営できる分散型排水処理施設をつくるための準備をスタートしました。

### これから

地域住民が一丸となって環境保全活動をおこなう状態をめざします。2014年度は引き続き研修を実施すると共に、環境教育の副読本を作る取り組みや、生活排水・家庭ゴミのコントロールなど日常的な環境保全活動を学ぶ研修も実施予定です。さらに分散型排水処理施設の建設に向けて、地域住民に施設建設の詳細（施設の仕組み、コスト、材料など）を共有し、汚染のメカニズム・日常的なゴミ処理方法・施設の保全方法・水質検査の方法等に関する研修を行います。

## SOMNEED STAFF

- 高山本部スタッフ
- 関西事務所スタッフ



12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
宮下 和佳：事務局長代行	中田 豊一：代表理事	田中十紀恵：コミュニケーション	掛札 文代：受付事務 (特活) まちづくりリスポット	谷前 久美子：経営管理マネージャー (特活) まちづくりリスポット	田邊 友也：事務局長 (特活) まちづくりリスポット	小柳津 仁：コミュニケーション (特活) まちづくりリスポット	ワタ アスカ：コミュニケーション	竹内 ゆみ子：国内事業部長 (特活) まちづくりリスポット代表理事	大西 廣子：会計、労務	大塚 由美子：事務局長	光本 昭子：総務、会計